

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	在宅介護見舞金給付事業		コード	担当課係	市民福祉課福祉係
			02-01-04-08	担当者	藤原弘章
事業実施期間	平成6年～平成18年		電話	72-1104	
総合計画 事業（政策）体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり			
	中項目	やさしさあふれるまちづくり			
	小項目	高齢者福祉			
	施策	生活支援サービスの充実			

事業について	
目的	寝たきり老人及び認知症老人、寝たきりの身体障害者の介護者に見舞金を支給することにより在宅介護を支援する
対象（誰のために）	備前市日生町に居住する常時介護、看護が必要な6箇月上寝たきりの状態である満65歳以上の方、又は身体障害者1、2級の方と生計を一にする同居の介護人
内容	寝たきり老人等一人につき、年額12万円を年2回に分けてその介護人支給する

事業の結果	17年度		
実施項目	回数など	回数など	回数など
給付人数	23人		

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	2,490	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	915	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	3,405	一般財源等	3,405	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.11	人		人
結果指標名	給付人数			
結果指標量	23			
単位	人			
対前年比	—			
事業費	3,405,000	円		円
単位当たりコスト①	148,043	円		円

結果指標名	給付人数			
結果指標量	23			
単位	人			
対前年比	—			
事業費		円		円
単位当たりコスト②		円		円

事業の成果			
成果指標名	給付人数が多いという事がこの事業の成果に結びつかないため、成果指標は設定しない。	式又は説明	
成果指標量	17年度		
対前年比	—		
到達目標値		到達目標年度	

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	ねたきり老人等の在宅介護を支援する目的で開始されたが介護保険制度のスタート、合併等状況の変化もあり、この事業は平成18年度で完了する
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	市民ニーズの妥当性	この事業は平成18年度で完了する
	市の関与の妥当性	
	コストの効率化	
有効性の評価	手段の最適化	在宅介護見舞金の給付については成果指標を設定しない
	職場の効率化	
	目的達成度	
総合評価	成果向上の可能性	市民参画度
	市民参画度	
	総合評価	

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

総合評価	コメント	評価区分
	この事業は日生町独自の事業であるが、合併時の申し合わせに基づいて平成18年度で完了する	<A~E>
		E

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input checked="" type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果